

- 問1 2001年から2018年にかけての北海道の酪農に関する統計では、飼育戸数が9640戸から6140戸へと大幅に減少する一方で、生乳生産量は3640.7千tから3965.2千tへと増加しています。また、100頭以上の牛を飼育する戸数や搾乳ロボットの導入数も大きく伸びています。このような北海道の酪農で見られる変化の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 飼育戸数の減少に比例して全体の生産量が減少し、酪農から畑作への転換が進んでいる。 | 2. 環境保護の観点から機械の使用を制限し、1戸あたりの飼育頭数を減らす取り組みが進んでいる。 | 3. 労働力不足を補うために、経営規模の拡大や搾乳ロボットの導入による機械化が進んでいる。 | 4. 乳製品の需要低下に合わせ、手作業を中心とした小規模な家族経営への転換が進んでいる。 |
|---|---|---|--|
- 問2 北海道の室蘭などで発展した鉄鋼業の歴史的背景と、現在の産業構造の変化について述べた文として、背景や理由が正しく説明されているものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 明治時代の北海道開拓に伴い、農業機械の自給を目的として鉄鋼業が興されたが、現在は周辺国との競争に敗れ、すべての製鉄所が閉鎖されている。 | 2. 複雑な海岸線を利用した観光業と両立させるため、環境負荷の低い小規模な石炭火力を維持しながら、特殊鋼ではなく汎用的な建築用鋼材を主に生産している。 | 3. 道内産の豊富な石炭や鉄鉱石を背景に発展したが、現在は輸入原料への依存を強め、自動車部品用の特殊鋼など付加価値の高い製品に注力している。 | 4. もともと海外からの輸入原料を加工するために砂嘴の地形を利用して港を整備したが、現在は造船業が衰退し、製造品出荷額の大半が食品工業となっている。 |
|--|---|--|--|
- 問3 北海道の開拓や歴史的背景に関連して、札幌周辺の状況を説明した記述として正しいものを次のの中から選びなさい。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. アイヌ民族の言葉由来とする地名が各所に残されており、明治時代には屯田兵が配置されて石狩平野の開拓が進められた。 | 2. 本州からの移住者が開拓使の言葉で新しく命名した地名が定着しており、現在は十勝平野に代わる大規模農地となっている。 | 3. アイヌ民族の居住区を確保するため、明治政府は石狩平野を聖域として保護し、市街地の開発を禁止した。 | 4. 蝦夷と呼ばれた人々が独自の地名を付け、江戸時代に大規模な稲作を行うために石狩平野の扇状地が開発された。 |
|--|---|---|--|
- 問4 別海町を含む北海道東部の地域で、稲作や一般的な畑作よりも酪農が著しく発達した地理的な要因は何か。 (2025年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 火山灰性の土壌が広がっており、水はけが良すぎるため根菜類の栽培に特化しているから | 2. 冬の積雪量が非常に多く、豊富な雪解け水を利用して大規模な水田耕作が可能だから | 3. 夏に親潮の影響で海霧が発生しやすく気温が上がらないため、牧草の栽培に適しているから | 4. 大都市である札幌に近接しており、新鮮な牛乳を迅速に出荷できる立地条件にあるから |
|---|---|--|--|
- 問5 北海道の自然環境における気温の分布について、一月の平均気温がマイナス十二度からマイナス三度の範囲であるのに対し、八月の平均気温は十八度から二十七度の範囲となっています。沿岸部にある稚内市役所付近の地点と、北海道で最も標高が高い地点を比較した際、特に夏季において平均気温に大きな開きが生じる主な要因として正しいものを次から選びなさい。 (2016年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|--------------------|------------------|------------------|
| 1. 緯度の違いによる日照時間の差 | 2. 暖流と寒流がぶつかる潮目の影響 | 3. 季節風（モンスーン）の遮断 | 4. 標高の違いによる気温の変化 |
|-------------------|--------------------|------------------|------------------|
- 問6 日本の国内における旅客輸送の状況について、東京都から北海道への移動を事例として説明した文として、適切なものはどれか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 青函トンネルの開通以降、鉄道による輸送コストが大幅に低下したため、航空機から鉄道への利用転換が完全に完了している。 | 2. 長距離の移動となるため、速達性に優れた航空機の利用が主流となっているが、新幹線の延伸などにより鉄道も重要な役割を担っている。 | 3. フェリーを利用した海上輸送が旅客輸送の中心であり、航空機や鉄道は補完的な手段として位置づけられている。 | 4. 環境負荷を低減する目的から、二酸化炭素排出量の多い航空機の利用が制限されており、鉄道が唯一の公共交通機関となっている。 |
|--|---|--|--|
- 問7 日本には、知床、白神山地、屋久島、小笠原諸島、奄美大島・徳之島・沖縄島北部及び西表島の5つの世界自然遺産があります。これらが位置する北海道、青森県、秋田県、鹿児島県などの道県のうち、青森県（青森市）、秋田県（秋田市）、鹿児島県（鹿児島市）のように県名と県庁所在地名が一致する自治体がある一方で、北海道は名称が異なります。世界自然遺産である知床を有し、道庁所在地が置かれている都市の名称を答えなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 鹿児島市 | 2. 青森市 | 3. 札幌市 | 4. 秋田市 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問8 日本の小麦や小豆の生産割合に関する統計において、全国の約6割（61.8%）を占めて第1位となっており、第2位の福岡県（7.6%）や第3位の佐賀県（5.7%）を大きく引き離している都道府県はどこですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 新潟県 | 2. 鹿児島県 | 3. 北海道 | 4. 秋田県 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問9 北海道のある都市の気候統計において、年平均気温が約8.9度、年降水量が約1106.5mmであり、特に12月や1月の降水量が比較的多いというデータが見られました。この都市が位置する場所として最も適切な条件はどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. 北海道の東側に位置し、親潮（寒流）の影響を強く受ける地域 | 2. 北海道の中央部に位置し、海から離れた盆地状の地域 | 3. オホーツク海に面し、冬には流水が押し寄せる地域 | 4. 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域 |
|---------------------------------|-----------------------------|----------------------------|----------------------------|
- 問10 日本の諸地域のうち、北海道地方について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、北海道には世界自然遺産に登録された知床があります。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 道庁所在地は旭川市であり、上川盆地の中心都市である。 | 2. 道庁所在地は釧路市であり、水産業の拠点となっている。 | 3. 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。 | 4. 道庁所在地は函館市であり、本州との交通の要所となっている。 |
|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
- 問11 札幌市の中心部に見られる、道路が垂直と水平に規則正しく交差するように設計され、住宅地や商業地が正方形に近い区画で整理されている街路の形態を何と呼びますか。 (2020年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------|-----------|-----------|
| 1. 格子状の街路 | 2. 同心円状の街路 | 3. 放射状の街路 | 4. 不規則な街路 |
|-----------|------------|-----------|-----------|
- 問12 北海道の知床半島を含む東部地域では、夏季に「濃霧」が発生し、視界が悪くなったり気温が上がりにくくなったりすることがあります。この霧が発生する仕組みについて、海面を流れる潮の流れ（海流）と季節風との関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 日本海から吹き込む湿った季節風が、暖流である対馬海流によって冷やされることで発生する。 | 2. 太平洋から吹き込む湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされることで発生する。 | 3. 太平洋から吹き込む乾いた季節風が、暖流である黒潮（日本海流）によって温められることで発生する。 | 4. オホーツク海から吹き込む冷たい風が、陸地の熱によって上昇気流となり、雲を作ることによって発生する。 |
|--|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 労働力不足を補うために、経営規模の拡大や搾乳ロボットの導入による機械化が進んでいる。	北海道の酪農では、従事者の高齢化や後継者不足を背景に飼育戸数自体は減少していますが、1戸あたりの飼育頭数を増やす「経営規模の拡大」や、搾乳ロボットなどの最新設備を導入する「機械化」を進めることで、少ない人数でも効率的に生産できる体制が整えられています。その結果、戸数が減っても全体の生乳生産量は維持・増加する傾向にあります。
問2	答え 3 道内産の豊富な石炭や鉄鉱石を背景に発展したが、現在は輸入原料への依存を強め、自動車部品用の特殊鋼など付加価値の高い製品に注力している。	北海道の重工業は、室蘭周辺の炭田や鉱山といった「原料供給地」に近いという立地条件を活かして発展しました。しかし、国内の炭鉱が閉山し、鉄鉱石も輸入に頼るようになったことで、単純な素材生産だけでなく、自動車産業向けの特種鋼など、高度な技術を要する分野へと生産内容をシフトさせて生き残りを図っています。製造品出荷額で見ても、鉄鋼業（約3954億円）は造船業（約310億円）を大きく上回る規模を維持しています。
問3	答え 1 アイヌ民族の言葉を由来とする地名が各所に残されており、明治時代には屯田兵が配置されて石狩平野の開拓が進められた。	北海道の多くの地名は、先住民族であるアイヌ民族の言葉に漢字を当てはめたものです。明治時代に入ると、警備と開拓を兼ねた屯田兵が各地に置かれ、石狩平野の扇状地などを中心に札幌の近代的な街づくりが進められました。江戸時代までは本格的な稲作は行われておらず、明治以降の技術改良によって北限が広がりました。
問4	答え 3 夏に親潮の影響で海霧が発生しやすく気温が上がらないため、牧草の栽培に適しているから	北海道東部の太平洋側は、夏に寒流である親潮（千島海流）の影響を受けて濃霧（海霧）が発生しやすく、日照時間が不足しがちで気温も低くなります。この気候条件は稲作や畑作には不向きですが、牧草の生育には適しているため、広い土地を生かした酪農が定着しました。
問5	答え 4 標高の違いによる気温の変化	一般に、標高が高くなるにつれて気温は下がるという性質があります。沿岸部に位置し標高が低い稚内市周辺と、北海道の屋根と呼ばれる大雪山系などの高標高地点を比較すると、この標高差が気温の差として明確に現れます。特に夏季の八月においては、全体の気温が高いため、標高による気温の低下が沿岸部との顕著な温度差となって示されます。
問6	答え 2 長距離の移動となるため、速達性に優れた航空機の利用が主流となっているが、新幹線の延伸などにより鉄道も重要な役割を担っている。	日本の長距離旅客輸送では、目的地までの所要時間を短縮できる航空機が大きなシェアを占めています。特に東京から北海道への移動では航空機の利用が圧倒的ですが、北海道新幹線の開業など鉄道網の整備も進められており、天候の影響を受けにくい安定した輸送手段として鉄道も並行して機能しています。他の選択肢にあるような「鉄道への完全な転換」や「航空機の利用制限」といった事実は現在の日本にはありません。
問7	答え 3 札幌市	都道府県名と都道府県庁所在地名が異なるケースは、全国で18の府県（北海道を含む）にあります。北海道の場合、道庁が置かれているのは札幌市です。また、北海道にある知床は、北半球における流水の南限であり、海と陸の生態系がつながっていることなどが評価され、世界自然遺産に登録されています。
問8	答え 3 北海道	涼しい気候と広大な土地を活かした畑作が非常に盛んな地域です。この都道府県は小麦や小豆だけでなく、じゃがいも（馬鈴薯）やてんさい（ビート）などでも全国1位の生産量を誇っており、日本の食料基地としての役割を担っています。選択肢にある新潟県や秋田県は米（稲作）、鹿児島県はサツマイモや畜産のシェアが高い県です。
問9	答え 4 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域	北海道の日本海側に位置する都市（札幌など）は、対馬海流（暖流）の影響を受けるため、冬に北西の季節風によってもたらされる雪の影響で、12月や1月の降水量が多くなります。年平均気温が9度前後、降水量が1100mm程度という数値は、北海道の中でも比較的温暖で、冬の降雪が顕著な西岸地域の典型的な特徴を示しています。
問10	答え 3 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。	北海道の行政の中心である道庁は札幌市に置かれています。札幌市は、碁盤の目のように区画された市街地を持つ政令指定都市です。北海道内には、知床という世界自然遺産が存在するほか、青森・秋田両県にまたがる白神山地や鹿児島県の屋久島など、日本の自然遺産が所在する自治体は、その場所や名称が中学地理において重要な学習事項となります。
問11	答え 1 格子状の街路	明治時代に設置された開拓使による都市計画において、札幌市の中心部には京都の街並みや北米の都市を参考にした道路網が築かれました。このように直角に交わる道路で構成された街画は、土地の管理を容易にし、計画的な都市開発を進める上での大きな特徴となっています。
問12	答え 2 太平洋から吹き込む湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされることで発生する。	夏季の北海道東部では、南東の太平洋側から湿った季節風が吹き込みます。この風が、千島列島から南下してくる非常に水温の低い寒流である「親潮」の上を通る際、空気の温度が急激に下げられます。これによって空気中に含まれていた水蒸気が凝結して細かい水滴となり、濃い霧が発生します。この仕組みは、暖かい空気が冷たい海面に触れることで生じるため「移流霧」と呼ばれ、現地の農業や交通に影響を与えます。